

熊本の心

また3月11日がやってきます。平成23年（2011年）のこの日に東日本大震災が発生しました。あれから今年で12年目を迎えます。

私は、東日本大震災と聞くと決まって思い出すエピソードがあります。避難所生活をされているあるお母さんが、マスコミの方に避難所生活の様子を尋ねられて返された言葉です。

「避難所にいると、食べ物でも衣類でも何でももらえて助かるんですが、子ども達に、もらいぐせがつくんじやないかとそれが心配で・・・。」

被災されて、言葉には言い表せない苦勞をされているのだと思いますが、このお母さんの言葉には、どん底にあっても節度や感謝の心、プライドを保ち続けておられる姿を感じました。

こんなお母さんですから、きっと、子どもさん達は苦難を乗り越えて、立派に成長されているに違いありません。

一方、人吉球磨地方を襲った令和2年7月豪雨災害後には、被災者を狙った窃盗や詐欺、補助金をめぐるトラブルなどが発生しています。家が天井まで浸かった私の知人も、置き場所がなくて庭に置いておいた家財道具を盗まれる被害に遭いました。そこには人間の浅ましさや欲望、自己中心的な人達の存在が現れ出ます。これが現実だと思うと悲しくなります。

子ども達には、生きていく上で、現実を教えることも必要だと思いますが、基本的には、西小学校の子どもとしてのプライドを持ち、協力し合いながら、困難に対して前向きに立ち向かっていくことを教えていきたいものです。

熊本県には私達の指針となるすばらしい「心」があります。

熊本の心	助けあい	励ましあい	志高く	熊本県
------	------	-------	-----	-----

この「熊本の心」は、おそらく県内のすべての公立学校に掲示してあると思います。心豊かで潤いに満ちた郷土熊本を築いていくために、県民一人一人が持ちたい心として熊本県が提唱したものです。日常生活の中で心のあり方として、お互いに相手を尊重し、協働・共有の相互扶助、こころざし志高くの心を持ちながら主体的に明日に向かって生きていく精神を表しています。

2月24日に人権集会を行いました。講話の中で「熊本の心」を紹介しました。みんなが「助けあい、励ましあい」の心を持てば、いじめは起こらないこと。そして「志」は単なる目標ではなく、誰かのため・世の中のために役に立とうとする高い目標であること。「志」を高く持つことで、学校生活は豊かになるということを伝えました。

体験入学を行いました

2月21日に来年度入学する新入学児の体験入学を行いました。その中で、初めての試みとして、新入学児がスムーズな小学校生活がスタートできるように、分館児童会を行いました。現1～6年生全児童と新入学児とその保護者さんが分館毎に分かれて、自己紹介をしたり、新しい登校班や集合場所等の確認を行いました。

授業参観・懇談会

3月3日(金)に授業参観・懇談会を行います。本年度最後になります。保護者の皆様には、年度末のお忙しい時期だとは思いますが、ぜひ懇談会までご参加くださいますようお願いいたします。

3月の主な行事予定

1日(水)安全点検
花の宅配便
3日(金)授業参観・懇談会
7日(火)読み聞かせ
7・9・10・13・16・17・22日
5・6年卒業式合同練習
14日(火)卒業式総練習
1～4年午前中授業
22日(水)6年修了式
卒業式準備
5年のみ弁当持参
23日(木)卒業式
1～4年指定休業日
24日(金)1～5年修了式
29日(水)退任式